

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

村 田 敬 典 氏	山口市医師会	7 月 9 日	享 年 89
吉 村 康 氏	長門市医師会	7 月 12 日	享 年 85
高 藤 勉 氏	岩国市医師会	7 月 20 日	享 年 62

編 集 後 記

お昼休みに雑誌をめくっていると、「幸福学」なるものを紹介しているページを見つけた。なんでも、あるアメリカの大学教授が始めた最近の研究らしい。最初のページには、年齢と幸せ (well-being) の関係のグラフが載っている。40 ～ 50 歳代の幸福度が最も低い。やはり、そうか。ちょっと気分が盛り下がる。しかし、この幸福度は、定年後はドンドン上昇していくらしいのでもう少しの辛抱辛抱。気を取り直して読み進めると、幸福になるためには、「幸せの四つの因子」を高めると良いらしい。「四つの因子」とは、まず一つ目は、「ありがとう！」因子。確かに年を取るにつれ、自分が周囲の人だけではなく、多くの人や制度に守られて生かされていることがわかってくる。次は、「何とかなる！」因子。これは自信あるな。何かあっても、とりあえず一杯飲んで寝て、また明日考えようと、気持ちの切り替えは得意かも。三つ目は、「ありのままに！」因子、これは持ちすぎかもしれない。で、最後に重要なのが、「やってみよう！」因子。おおっ。私、生来の怠け者で向上心薄い人間ではあるが、この夏より、戦々恐々薄氷を踏む思いで県医師会の理事として新しい仕事にトライしており、この「幸福学」のクライテリアによれば、現在の私の幸福度はかなり高い、はずである。

今月号は緑陰随筆、県内各地の会員の先生からの力作揃いです。今日の診療に直結する情報ばかりではありませんが、この医師会報によって、山口県医師会が、医師一人一人が集まり活動している身近な組織であると感じていただければ、スタッフの幸福度もアップです。

(理事 長谷川 奈津江)

お知らせ

7 月の広報委員会において、「県医師会の動き」のコーナーについては、「各担当理事の報告記事」及び「理事会報告」の内容と重複する事柄が多いことから、両コーナーを統合し、新たに「理事会報告」として掲載することを提案し、了承されました。歴代の副会長の名文を読むにつけ、その知性と教養に感嘆し、その名文を楽しみにされていた会員の皆様に失望されることになり大変申し訳なく思っておりますが、どうぞ御理解くださいますようお願いいたします。なお、新しい試みは 9 月号からスタートしますので、引き続きよろしくお願いします。

(副会長 今村 孝子)